



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場会社名 名鉄運輸株式会社 上場取引所名
 コード番号 9077 URL <http://www.meitetsuunyu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米原 浩一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 中島 正人 TEL 052-935-5721
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績 (平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	66,526	2.0	2,889	2.7	2,842	4.2	1,364	5.6
23年3月期第3四半期	65,250	6.9	2,814	4.7	2,729	10.7	1,293	△25.0

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,562百万円(24.8%) 23年3月期第3四半期 1,252百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
24年3月期第3四半期	円 銭 56 16	円 銭 —
23年3月期第3四半期	円 銭 53 20	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
24年3月期第3四半期	百万円 80,389	百万円 11,315	% 13.2
23年3月期	72,464	9,066	12.5

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 10,568百万円 23年3月期 9,065百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	円 銭 —	円 銭 0 00	円 銭 —	円 銭 2 00	円 銭 2 00
24年3月期	—	0 00	—		
24年3月期(予想)				2 50	2 50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	3.7	3,100	3.4	2,900	1.1	1,600	29.0	65 84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (四国名鉄運輸株式会社)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期3Q	24,402,991株	23年3月期	24,402,991株
24年3月期3Q	101,456株	23年3月期	99,173株
24年3月期3Q	24,302,942株	23年3月期3Q	24,305,998株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高の進行や欧州をはじめとした海外経済の減速による輸出の減少、地デジ移行に伴う駆け込み需要の反動減でテレビ販売が減少するなど、個人消費も低迷が続き、国内景気は低調に推移しました。

こうした経済環境を受け、物流業界では東日本大震災の影響による荷動きの停滞や個人消費低迷による出荷減などにより、国内貨物総輸送量は12年連続で前年を下回ることが想定される厳しい事業環境となりました。また、運賃単価についても、荷主の値下げ圧力の強まりにより運賃下落基調に歯止めがかからず、収益面でも厳しい状況が続きました。

このような状況の中、当社グループでは、既存顧客の囲い込みとグループ相互での営業情報を共有化し、グループ一体となって新規荷主獲得に努めるなどグループ力を生かした積極的な営業活動を推進するとともに、輸送効率向上や諸経費の削減に努めました。

さらに、当第3四半期連結会計期間より、グループネットワークの一層の強化とグループ全体での経営資源の効率的な活用を目指し、四国名鉄運輸株式会社及びその子会社を連結子会社化し、より強靱なグループ構造の構築を図りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、四国名鉄運輸株式会社の連結子会社化の効果もあって前年同四半期比2.0%増の66,526百万円となり、営業利益は前年同四半期比2.7%増の2,889百万円、経常利益は支払利息の減少などにより前年同四半期比4.2%増の2,842百万円、四半期純利益は前年同四半期比5.6%増の1,364百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。

(貨物自動車運送事業)

貨物自動車運送事業では、円高や国際経済の低迷、タイにおける洪水などの影響による国内生産活動の減退に加え、運賃単価の下落もあって厳しい経営環境にありましたが、四国名鉄運輸株式会社の連結子会社化の効果もあって、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期比2.7%増の56,108百万円となりました。

(航空利用運送事業)

航空利用運送事業では、国際貨物運送事業の他社への移管や国内貨物運送事業における輸送量の減少による影響により、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期比5.1%減の6,125百万円となりました。

(流通事業)

流通事業では、国内販売活動の鈍化により一部荷主においては荷動きに停滞感がありましたが、コンビニ関連の取引量は堅調に推移しました。その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期比2.5%増の4,208百万円となりました。

(その他)

その他の事業では、新規の貸貸を開始するなど遊休資産の有効活用に向けた結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期比38.2%増の84百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

[資産の部]

流動資産は、前連結会計年度に比べて25.5%増加し、16,367百万円となりました。これは、受取手形及び営業未収入金が2,488百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度に比べて7.7%増加し、64,022百万円となりました。これは、有形固定資産が3,925百万円増加したことなどによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度に比べて7,925百万円増加し、80,389百万円となりました。

[負債の部]

流動負債は、前連結会計年度に比べて15.7%増加し、42,528百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が11,438百万円減少したのに対し、短期借入金が13,778百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度に比べて0.3%減少し、26,545百万円となりました。これは、長期借入金が1,610百万円減少したことなどによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間の負債合計は、前連結会計年度に比べて5,675百万円増加し、69,074百万円となりました。

[純資産の部]

純資産合計は、前連結会計年度に比べて24.8%増加し、11,315百万円となりました。これは、主として利益剰余金が1,325百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

欧州における債務問題や円高の影響が続いており、今後の国内の経済情勢も依然として厳しい状況が続くものと予想されますが、現時点では業績が概ね計画通りに推移していることから平成23年11月7日に公表いたしました平成24年3月期通期の連結業績予想から変更ありません。

なお、今後、業績予想に大きな変化がある場合には適時に開示してまいります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間より、株式の取得によって四国名鉄運輸株式会社を連結の範囲に含めております。

なお、当該会社の純資産の額が当社の純資産の額の100分の30以上に相当し、かつ資本金の額が当社の資本金の額の100分の10以上に相当するため特定子会社に該当いたします。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	313	611
受取手形及び営業未収入金	11,576	14,064
有価証券	2	2
貯蔵品	166	176
繰延税金資産	218	149
その他	845	1,409
貸倒引当金	△85	△46
流動資産合計	13,037	16,367
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	32,574	35,757
減価償却累計額	△20,940	△23,360
建物及び構築物(純額)	11,634	12,396
機械装置及び運搬具	18,884	24,035
減価償却累計額	△13,517	△17,867
機械装置及び運搬具(純額)	5,366	6,167
土地	36,171	38,457
リース資産	1,127	1,357
減価償却累計額	△554	△717
リース資産(純額)	573	640
その他	1,137	1,276
減価償却累計額	△891	△1,021
その他(純額)	246	254
有形固定資産合計	53,991	57,917
無形固定資産		
リース資産	196	275
その他	367	403
無形固定資産合計	564	679
投資その他の資産		
投資有価証券	2,104	2,080
長期貸付金	79	79
繰延税金資産	298	845
その他	2,463	2,487
貸倒引当金	△75	△67
投資その他の資産合計	4,870	5,426
固定資産合計	59,427	64,022
資産合計	72,464	80,389

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	7,501	9,303
短期借入金	8,544	22,323
1年内返済予定の長期借入金	16,126	4,687
リース債務	282	373
未払法人税等	516	908
賞与引当金	194	37
その他	3,602	4,894
流動負債合計	36,768	42,528
固定負債		
長期借入金	16,351	14,740
リース債務	421	496
繰延税金負債	687	486
退職給付引当金	5,189	7,260
役員退職慰労引当金	110	137
再評価に係る繰延税金負債	2,756	2,398
資産除去債務	572	576
負ののれん	5	0
その他	534	448
固定負債合計	26,629	26,545
負債合計	63,398	69,074
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,065	2,065
資本剰余金	1,534	1,534
利益剰余金	3,872	5,198
自己株式	△19	△19
株主資本合計	7,454	8,779
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	196	31
土地再評価差額金	1,414	1,757
その他の包括利益累計額合計	1,611	1,789
少数株主持分	0	747
純資産合計	9,066	11,315
負債純資産合計	72,464	80,389

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	65,250	66,526
売上原価	60,041	61,013
売上総利益	5,208	5,513
販売費及び一般管理費		
人件費	1,356	1,408
施設使用料	335	413
その他	703	801
販売費及び一般管理費合計	2,394	2,623
営業利益	2,814	2,889
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	47	51
持分法による投資利益	2	—
受取手数料	50	51
貸倒引当金戻入額	—	52
その他	229	123
営業外収益合計	331	281
営業外費用		
支払利息	396	306
持分法による投資損失	—	0
その他	20	20
営業外費用合計	416	327
経常利益	2,729	2,842
特別利益		
前期損益修正益	12	—
固定資産売却益	50	65
負ののれん発生益	41	224
退職給付制度終了益	29	—
その他	31	0
特別利益合計	164	290
特別損失		
固定資産処分損	63	25
減損損失	48	283
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	363	—
投資有価証券評価損	2	7
退職給付費用	—	106
割増退職金	—	57
その他	7	10
特別損失合計	485	491
税金等調整前四半期純利益	2,408	2,641
法人税、住民税及び事業税	1,157	1,212
法人税等調整額	△41	51
法人税等合計	1,115	1,264
少数株主損益調整前四半期純利益	1,293	1,376
少数株主利益	0	11
四半期純利益	1,293	1,364

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,293	1,376
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	△166
土地再評価差額金	△1	351
その他の包括利益合計	△40	185
四半期包括利益	1,252	1,562
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,252	1,551
少数株主に係る四半期包括利益	0	10

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等
【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	貨物 自動車 運送事業	航空利用 運送事業	流通事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	54,628	6,457	4,103	65,190	60	65,250	—	65,250
セグメント間の内部 売上高又は振替高	821	188	30	1,039	—	1,039	△1,039	—
計	55,449	6,645	4,134	66,229	60	66,290	△1,039	65,250
セグメント利益	4,210	499	536	5,246	39	5,286	△77	5,208

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおり
ます。

(注) 2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(注) 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	貨物 自動車 運送事業	航空利用 運送事業	流通事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	56,108	6,125	4,208	66,442	84	66,526	—	66,526
セグメント間の内部 売上高又は振替高	977	206	39	1,223	—	1,223	△1,223	—
計	57,085	6,332	4,248	67,666	84	67,750	△1,223	66,526
セグメント利益	4,466	540	527	5,534	60	5,595	△82	5,513

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおり
ます。

(注) 2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(注) 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。